

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

I 調査結果について

1. 調査結果概況

	国語 A (知識)	国語 B (活用)	算数 A (知識)	算数 B (活用)
戸部小学校	75	59	83	51
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

2. 教科別調査結果

※顕著な結果が見られた項目 (○：全国平均を上回った項目／▲：全国平均を下回った項目)

【国語】 ○目的や意図に応じ、文章全体の構成を考え、引用し、内容の中心を明確にして書く。

○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える。

▲目的や意図に応じて話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話す。

▲学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く。

【算数】 ○高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解している。

○示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断する。

▲飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断する。

▲商を分数で表す。

3. 児童質問紙回答結果 ※全国平均と比べて特に肯定的な傾向が見られた項目

- ・ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある。
- ・地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある。
- ・学級やグループの中で、自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う。
- ・授業や課題活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思う。
- ・学校の授業などで、自分の考えを他人に説明したり、文章に書いたりすることは難しくない。
- ・国語・算数の授業の内容はよく分かる。将来、社会に出た時に役に立つと思う。

II 今後の指導・取組等について

- ・全国と比較すると、国語も算数も平均を上回っています。特に算数では大きく上回っていました。これは、基礎・基本の確実な習得に努めたこと、「はまっこ学習ドリル」等の活用を図ったことが結果に表れたと考えています。しかし、漢字や計算等、一部全国平均を下回る設問がありました。引き続き、基礎・基本の確実な理解を図り、繰り返しの練習にも意欲的に取り組めるよう支援していきます。
- ・全国と比較すると、国語、算数共にA問題（知識）と比べてB問題（活用）でより平均を上回っていました。また、国語・算数の学習に対して肯定的な見方をしている児童の割合が多く見られました。これは、本校が、実生活や実社会との関わりを重視し、生活科・総合的な学習の時間に取り組む中で、効果的な教科との関連を図り、指導していることの一つの成果であると考えています。またその中で、振り返りを書くことを日常的に位置づけたり、話し合い活動を重視したりしていることが、目的に応じて書くことに関する設問で高い正答率が見られたことや、説明したり文章を書いたりすることに難しさを感じる児童の割合が少ないことにつながっていると考えています。今後はさらに、学習の基盤となる言語能力や情報活用能力、考える技法等の視点から、教科との関連を意識し、生活科・総合的な学習の時間の充実を目指していきます。
- ・「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」の設問に対しては、「当てはまる」「どちらかといえば、あてはまる」と、肯定的に答えた子どもの合計が 100%でした。一方で、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「自分には、よいところがあると思う」という設問では、肯定的に答えた児童の割合が全国平均を若干下回りました。修学旅行やとべスポ等、様々な行事等を通して、自分たちの取組みに達成感を感じることができている子どもたちが、その成果と自分自身の取り組み方とを関連付け、自信をもてるよう、支援していきます。